

令和 6 年
全国
一級河川の水質現況

Recent conditions of water quality of class A rivers in Japan

2024

令和 6 年水質調査結果

感覚的な水質指標による調査
水質事故等の状況

特集

「日本最後の清流」と呼ばれる

しまんとがわ
四万十川

「清流」から生まれた名産品

いしかりがわ
石狩川 [北海道地方]

水質改善と観光振興

あしだがわ
芦田川 [中国地方]

水質だより

よどがわ
淀川 [近畿地方]

MLIT Ministry of Land, Infrastructure, Transport and Tourism

表紙写真「高瀬沈下橋とカヌー」【写真提供：四万十市観光協会】



国土交通省

水管理・国土保全局

CONTENTS

DATA



科学的調査

令和 6 年水質調査結果

- 03 DATA 水質が最も良好な河川 2024
- 04 DATA 水質が最も良好な河川 2015-2024
- 05 DATA 過去 10 年間の水質改善状況
- 06 DATA 環境基準（BOD 等）の満足状況



感覚的な水質指標による調査



感覚的調査

- 08 利賀川の水生生物調査
- 09 安倍川・大井川の水生生物調査
- 10 川内川をまるごと体験しよう！



水質事故調査

水質事故等の状況

- 11 DATA 水質事故等の状況

特集

- 13 「日本最後の清流」と呼ばれる ^{しまんとがわ} 四万十川



Column

- 15 「清流から生まれた名産品」  ^{いしかりがわ} [北海道地方] 石狩川

- 16 「水質改善と観光振興」  [中国地方] ^{あしだがわ} 芦田川

- 17 「水質だより」  [近畿地方] ^{よどがわ} 淀川



- 18 水難事故防止 



科学的調査

令和 6 年水質調査結果

公害問題が顕在化してきた昭和 40 年代以降、水質汚濁が進み、「汚い、臭い、遊べない」といわれる河川が全国に多くありました。国土交通省が河川の水質について、年単位(1月～12月)でのとりまとめを始めた昭和 46 年当時、BOD 平均値が 5.0mg/ℓ を超え、水質改善が急務であった地点は、一級河川の全調査地点の 27% を占めていました。

しかし、このような一級河川の水質も、これまでの排水規制、下水道整備、河川浄化事業等の推進により徐々に良くなっています。例えば、昭和 40 年代の多摩川は水質悪化が進み、洗剤の泡が浮く汚れた河川でした。昭和 50 年代後半には、アユの遡上が確認されるまでに水質が良くなり、近年では、大量のアユが毎年遡上するまでになっています。また、綾瀬川や大和川は、昭和 40 年代の都市化の進展に伴う水質汚濁が著しく、BOD 値が 30mg/ℓ を超えていましたが、水質改善の取り組みにより確実に良くなりました。特に大和川では、令和 6 年の代表地点の BOD75% 値が 1.3mg/ℓ となり、アユの遡上も確認されるようになっています。

こうした水質改善の背景には、排水規制や下水道整備のみならず、各地域や家庭での生活排水の汚れを減らす取り組みや、流域でのクリーン活動等の啓発活動といった、流域の人々の様々な活動があります。これからも水質を維持・改善していくためには、このような各地域における努力を持続・発展させることが重要です。



科学的調査

THE BEST 20 河川

水質が最も良好な河川 2024

令和 6 年の平均的な水質（BOD 値）が最も良好な河川は以下のとおりです。

BOD 値による河川の水質状況（水質が最も良好な河川）

地方名	河川名			調査地点の都道府県名
北海道	尻別川	シリベツガワ	尻別川水系	北海道
北海道	後志利別川	シリベシトシベツガワ	後志利別川水系	北海道
北海道	札内川	サツナイガワ	十勝川水系	北海道
北海道	渚滑川	ショコツガワ	渚滑川水系	北海道
東北	荒川	アラカワ	阿武隈川水系	福島県
東北	胆沢川	イサワガワ	北上川水系	岩手県
東北	玉川	タマガワ	雄物川水系	秋田県
中部	狩野川	カノガワ	狩野川水系	静岡県
中部	安倍川	アベカワ	安倍川水系	静岡県
中部	櫛田川	クシダガワ	櫛田川水系	三重県
近畿	熊野川	クマノガワ	新宮川水系	和歌山県
近畿	北川	キタガワ	北川水系	福井県
中国	天神川	テンジンガワ	天神川水系	鳥取県
中国	小鴨川	オガモガワ	天神川水系	鳥取県
中国	高津川	タカツガワ	高津川水系	島根県
四国	仁淀川	ニヨドガワ	仁淀川水系	高知県
九州	川辺川	カワベガワ	球磨川水系	熊本県
九州	本庄川	ホンジョウガワ	大淀川水系	宮崎県
九州	小丸川	オマルガワ	小丸川水系	宮崎県
九州	五ヶ瀬川	ゴカセガワ	五ヶ瀬川水系	宮崎県

【「水質が最も良好な河川」の定義】

対象河川である 160 河川のうち、以下の両方を満たす河川。

- 対象河川の各調査地点の BOD 年間平均値について、全調査地点で平均をとった値が $0.5\text{mg}/\ell$ ※1
- 対象河川の各調査地点の BOD75% 値 ※2 について、全調査地点で平均をとった値が $0.5\text{mg}/\ell$

※1：環境省の定める BOD の報告下限値（ $0.5\text{mg}/\ell$ ）

※2：測定データを値が小さい（水質が良好）方から並べ、 $0.75 \times$ データ数番目（整数ではない場合は切り上げ）の値（例えば、BOD を毎月 1 回測定していた場合、水質の良い方（値の小さい方）から数えて $0.75 \times 12 = 9$ 番目の値が 75% 値となります。）

<対象河川>

- 一級河川（本川）：直轄管理区間に調査地点が 2 以上ある河川
- 一級河川（支川）：直轄管理区間延長が概ね 10km 以上、かつ直轄管理区間に調査地点が 2 以上ある河川

※湖沼類型指定、海域類型指定の調査地点及びダム貯水池は含まない。



科学的調査

水質が最も良好な河川

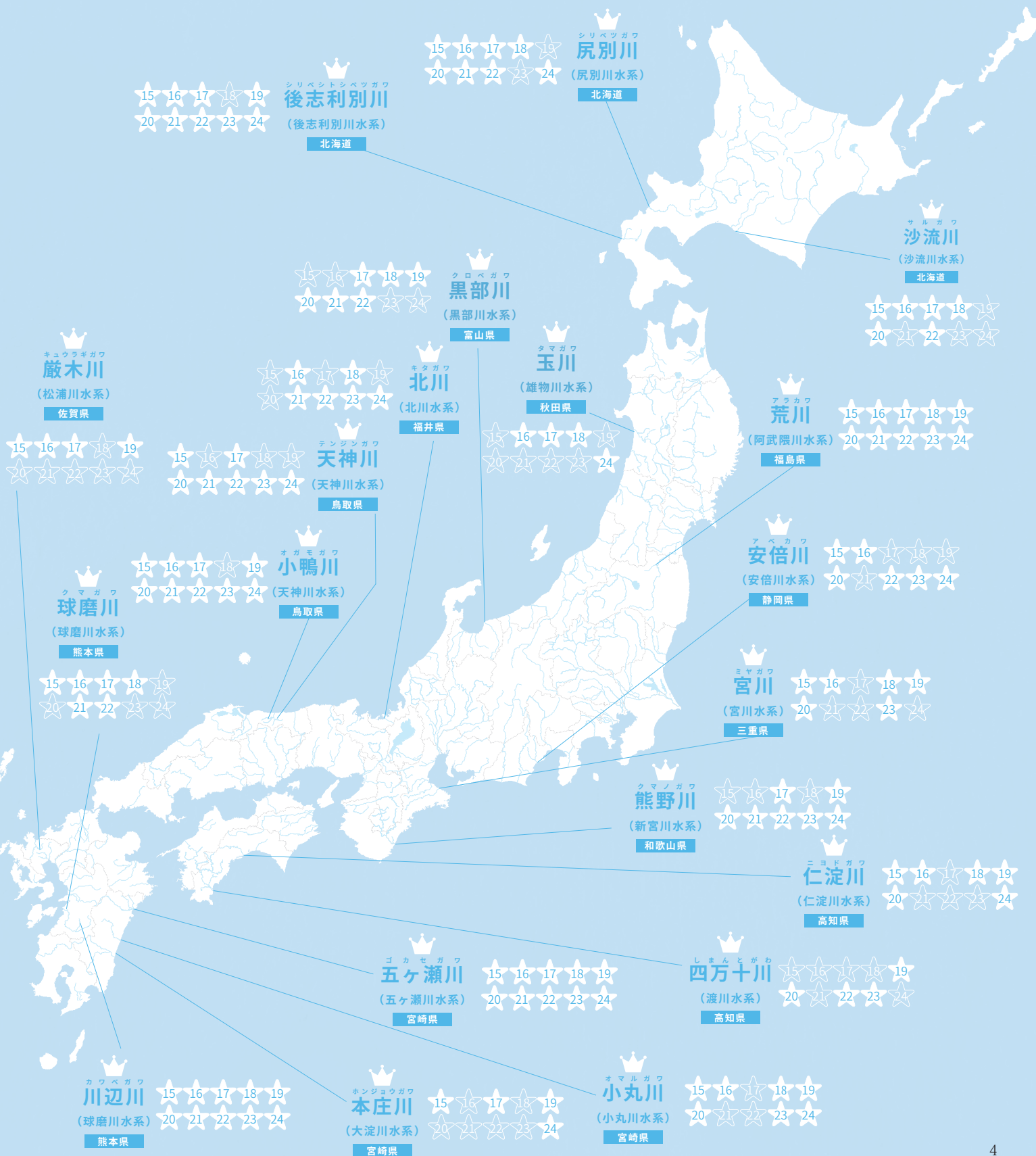
2015 - 2024

星印：「水質が最も良好な河川」となった年
(西暦下2桁)

平成 27- 令和 6 年水質調査結果

2015-2024 年 (平成 27- 令和 6 年) の 10 年で、
4 回以上「水質が最も良好な河川」となった河川 (20 河川) を紹介します

15	16	17	18	19
20	21	22	23	24





科学的調査

TOP
5

過去 10 年間の水質改善状況

過去 10 年間に BOD 値が大幅に改善されている地点は以下のとおりです。

BOD 平均値の改善幅による過去 10 年間の水質改善状況

順位	地方名／地点名 (水系名河川名)		平成 27 年 BOD 年間 平均値 (mg/ℓ)	令和 6 年 BOD 年間 平均値 (mg/ℓ)	水質改善幅 (mg/ℓ)
1	中部／ セタオオハシ 勢田大橋	ミヤガワ (宮川水系 / セタガワ 勢田川)	9.7	2.2	7.5
2	近畿／ トクラ 利倉	ヨドガワ (淀川水系 / イナガワ 猪名川)	7.5	2.5	5.0
3	近畿／ デンボウオオハシ 伝法大橋	ヨドガワ (淀川水系 / ヨドガワ 淀川)	7.3	2.4	4.9
4	近畿／ イチダガワカコウ 市田川河口	シングウガワ (新宮川水系 / イチダガワ 市田川)	3.7	1.5	2.2
5	関東／ ヤスジガワ 八筋川	トネガワ (利根川水系 / ヨコトネガワ 横利根川)	4.2	2.6	1.6

令和 6 年の地点毎の年間の平均的な水質（BOD 値）と、平成 27 年の地点毎の年間の平均的な水質（BOD 値）から、10 年間の直轄管理区間の水質改善幅による地点の水質改善状況を比較すると、上記上位 5 地点で大幅な水質改善が進んでいます。

また、上記上位 5 地点以外にも、様々な取組み等により、全国的にきれいな川、生物が生息しやすい川などをめざして水質や水環境の改善が多面的に取り組まれています。

こうした水質を改善する取組みを地域づくりや観光振興とあわせて実施している河川として、[芦田川\(中国地方\) \(P.16\)](#)や[淀川\(近畿地方\) \(P.17\)](#)の事例を掲載しています。



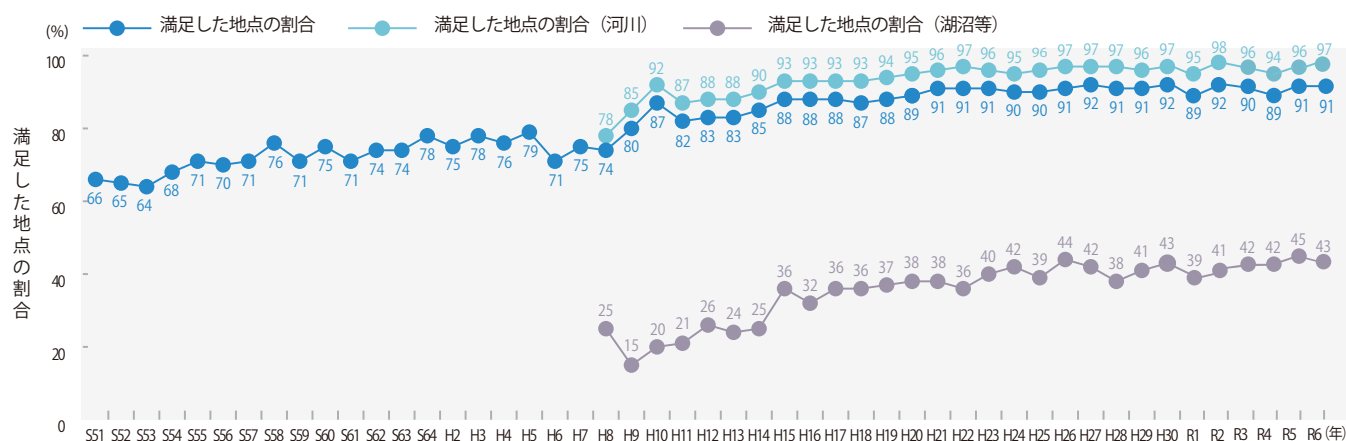
科学的調査

91%

環境基準（BOD 等）の満足状況

BOD※1（または COD※2）値が環境基準を満足した地点の割合は 91%でした。

【生活環境の保全に関する環境基準】



一級河川（湖沼及び海域を含む）において環境基準を満足した地点の割合

令和 6 年に、一級河川（湖沼及び海域を含む。）の直轄管理区間において、生活環境の保全に関する環境基準項目のうち、BOD（生物化学的酸素要求量）または、COD（化学的酸素要求量）の環境基準を満足した地点の割合は 91%（907 地点 / 992 地点）で、依然として高い割合を維持しています。

なお、令和 6 年に BOD（または COD）値が環境基準を満足した地点の割合について、地点の種類別に見ると、河川のみでは 97%（863 地点 / 889 地点）、湖沼等（海域含む）※3 では 43%（44 地点 / 103 地点）でした。

※ 1 BOD（生物化学的酸素要求量）： 河川の水質の汚濁状況を測る代表的な指標である。水中の汚れ（有機物）が微生物により分解されるときに消費される酸素量のことで、BOD の値が大きければ水が汚れていることを表す。

※ 2 COD（化学的酸素要求量）： 湖沼や海域の水質の汚濁状況を測る代表的な指標である。水中の有機物を酸化剤で酸化されるときに消費される酸化剤の量を酸素量に換算したもので、COD の値が大きければ水が汚れていることを表す。

※ 3 河川・湖沼別の環境基準を満足した地点の割合は平成 8 年より整理（平成 26 年以降は海域も含む）

【ダイオキシン類】

令和 6 年度における、ダイオキシン類が水質環境基準を満足した地点の割合は 94%（162 地点 / 172 地点）でした。

【人の健康の保護に関する環境基準】

令和 6 年における、直轄管理区間の健康項目全体の環境基準を満足した割合は 99.7%（857 地点 / 860 地点）となっており、ほとんどの地点で環境基準を満足しました。



感覚的な水質指標による調査

国土交通省では、河川を BOD などの環境基準だけでなく多様な視点で評価するために、調査の一部を住民と河川管理者との協働で実施しています。
普段親しんでいる身近な川で、ごみの量や水のにおいなどを実際に体感することで評価しています。

河川を BOD などの環境基準だけでなく多様な視点で評価するための指標について検討し、「今後の河川水質管理の指標について（案）」を平成 17 年 3 月にとりまとめました^{注 1）}。このうち、「感覚的な水質指標^{注 2）}」による調査では、調査の一部を住民と河川管理者との協働により平成 17 年から実施しており、普段親しんでいる身近な川で、ごみの量や水のにおいなどを実際に体感することで評価しています^{注 3）}。住民との協働による水質調査は、住民の川に対する意識の向上（情報提供を含む）、河川水質の情報収集、住民の主体的な行動を引き出すことなどにより、川の改善を目指すことをねらいとしています。

注 1 平成 21 年 3 月に一部改訂し、平成 21 年度の調査より適用しています。

注 2 「今後の河川水質管理の指標」のうち、「人と河川の豊かなふれあいの確保」に関する調査では、ごみの量や水のにおいなどを実際に体感することで評価する項目が含まれていることから、「感覚的な水質指標」として紹介しています。

注 3 評価項目ごとに A～D ランクの 4 段階の評価ランクを決めた上で、まず調査回ごとに最も低い項目別評価ランクを、その地点のその調査時の総合評価ランクとし、1 年間の調査時の総合評価ランクのうち最頻出ランクを、その地点における年間の総合評価ランクとします。最頻出ランクが 2 つ以上ある場合は、低い方のランクを年間の総合評価ランクとします。

「感覚的な水質指標による調査」は、これまで多くの水系で実施され、子供たちをはじめ、多くの方々が参加しています。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため、全国的に調査中止あるいは規模縮小を余儀なくされた時期もありましたが、長年調査を実施する中で、河川ごとに調査内容や方法も多様化しています。

ここでは、2024 年に実施した調査をご紹介します。

なお、住民参加による水質調査の詳しい実施状況は、【詳細版】令和 6 年全国一級河川の水質現況 [第二章 河川の水質現況](#) [4. 住民参加による水質調査をご覧ください。](#)

参加者数が多い調査地点（上位 5 地点）

順位	都道府県	河川名（水系名）/ 調査地点	参加者数
1	北海道	札内川（十勝川水系）/ 札内橋下流	790
2	香川県	土器川（土器川水系）/ 平成大橋下流	354
3	徳島県	那賀川（那賀川水系）/ 阿南市下大野町渡り上り地先	259
4	愛媛県	重信川（重信川水系）/ 出合橋	252
5	島根県	斐伊川（斐伊川水系）/ 井上橋	224

※表中の参加者数は、年間を通した延べ人数。



水生生物調査とパックテストで川のきれいさを確認

利賀川の水生生物調査

庄川水系 とががわ 利賀川 (富山県)

令和6年7月12日に南砺市立利賀学舎の3年生児童3名が庄川水系利賀川にて水生生物調査を行い、地域の河川環境について学びました。この調査は、水質汚濁の影響を受けるカワゲラ類等の水生生物の生息状況を調べ、それらの水生生物を指標として水質を判定するというものです。

試薬を用いて川の水を反応させ、測定項目ごとにカードの標準色と照らし合わせて水質を判定するパックテストを使って、科学的に水質を調査しました。判定の結果、利賀川のpHは7であることがわかりました。

当日は、天候不良による増水のため川に入れなかったため、事前に採取した川の水から、どんな生物が生息しているのかを調べました。今回の調査では、「ヨコエビ」や「ナミウズムシ」という、きれいな水に生息する生物が多く見つかり、パックテストの水質結果とあわせて、「利賀川はきれいな川」ということがわかりました。



利賀川の状態を確認



パックテストで反応した試薬の色で水質を確認



利賀川の透視度を確認



生物をスポイト等で捕獲し、指標生物に分類

安倍川・大井川の水生生物調査

安倍川水系

あ べ か わ

\\ 安倍川 //

大井川水系

お お い が わ

\\ 大井川 //

(静岡県)

安倍川で令和6年7月31日、大井川で令和6年8月7日に、近隣の小学生とその保護者、総勢26名に参加いただき、水生生物調査を実施しました。

河川に生息する水生生物の生息状況（種類や数）は、水質汚濁の影響に左右されることから、水質を判定する指標となります。

生き物博士から水辺の生き物調査のやり方や水質調査について教わってから、川に入ります。

今回の調査では、安倍川ではヒラタカゲロウやヨシノボリ類、大井川ではナガレトビケラやスジエビが確認されました。調査で得られたトビケラやカゲロウのなかま等から水質を判定した結果、安倍川・大井川は水質階級Ⅰ（きれいな水）でした。

このように川に生息する生き物を通して、安倍川・大井川の魅力を再確認できたイベントとなりました。



生き物博士から説明を受けました



採集した水生生物について確認します



川の中に入り、水生生物を採集します



ヒラタカゲロウ

スジエビ

ヒラタカゲロウやスジエビが確認されました



5年ぶりに開催

川内川をまるごと体験しよう！

川内川水系 たきがわ \\ 高城川 // (鹿児島県)

令和6年8月、川内川をつくり見守る会主催のイベント「川内川をまるごと体験しよう！」が5年ぶりに開催されました。薩摩川内市内の16名の小学生が参加し、水生生物調査や川流れ・飛込み等、非日常の体験をしました。当日は36度を超える猛暑日でしたが、木陰は涼しく、冷たい川の中で楽しく過ごすことができました。

この「川内川をつくり見守る会」とは、川内川の環境分野で川内川河川事務所と連携し、水辺の安全活用推進や水辺の賑わいづくりなど、流域住民と共に進めている川内川流域連携ネットワークで活動している14団体の1つです。茂みの近くや石の裏などから生き物を探し出す、水生生物調査を行いました。この調査結果から川内川は「ややきれいな川」となりました。



透視度の測定



川の中に入り、水生生物を採集します。



水生生物調査

2024
8/3
土

夏休み！
川内川をまるごと体験しよう！

川に入って川の流れや生き物を探ったり、
川遊びのルールを体験しよう！

参加対象 / 小学生および参加者の保護者
参加費用 / 500円(保険料 当日支払い)
持ちもの / おにぎり、水筒、着替え、タオル等、水にぬれてよい運動靴
開催場所 / 高城川 横見ヶ淵

◆スケジュール

8:00 集合(高来小学校駐車場)
9:00 水質・生き物調査(横見ヶ淵)
10:30
10:45 川遊びのルールを体験(安全学習)
12:00
12:10 河原で昼食
13:30 解散

◆応募方法

必要事項
・参加者氏名(ふりがな)
・生年月日
・学校名
・保護者氏名
・住所
・連絡先

【問い合わせ先】
川内川をつくり見守る会 会長 永井信弘
TEL:090-3882-1930 FAX:0996-20-1858

先着15名！

主催:川内川をつくり見守る会 協賛:鹿児島県川内川河川事務所/薩摩川内市教育委員会/川内川流域連携ネットワーク

開催案内チラシ



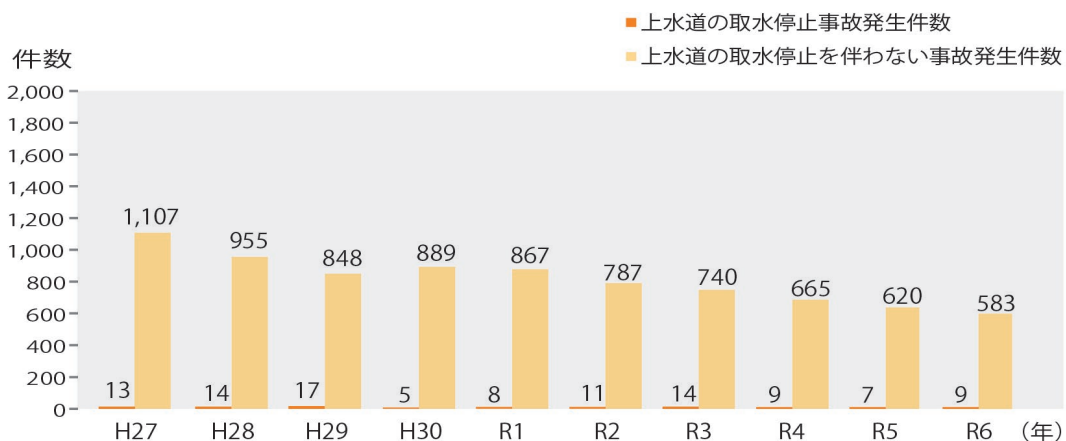
水質事故等の状況

令和 6 年の水質事故の発生件数は 592 件で、長期的には減少傾向にあります。

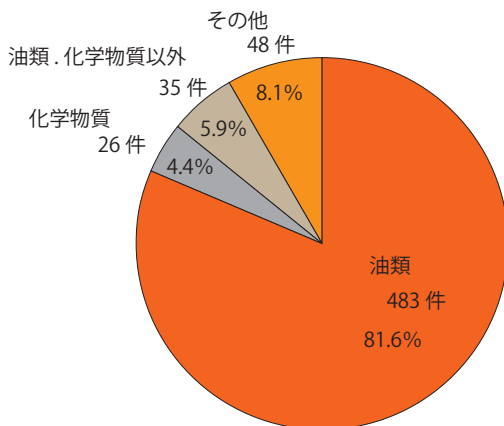
令和 6 年は令和 5 年と比べ 35 件減少し、水質事故の発生件数は、減少傾向にあります。

事故の内容を原因物質別にみると、油類の流出が全体の約 8 割を占めています。

一級水系においては、水質事故発生時には、河川管理者、利水者、その他関係行政機関等により構成される「水質汚濁防止連絡協議会」を通じて、速やかに情報の収集、通報・連絡を行うとともに、関係機関と連携のもとにオイルフェンスを設置するなど、被害の拡大防止に努めています。



水質事故発生件数と上水道の取水停止事故発生件数の推移



合計 592 件（自然現象 17 件を除く）

水質事故の内容（原因物質別）



不法投棄による油流出事故

（写真：関東地方整備局 江戸川河川事務所）



水質事故を防ぐために

水質事故は油類や化学物質によるものがあり、工場で使用される機械の故障・操作ミスや、交通事故、ごみの不法投棄などによって発生します。

ひとたび油類や化学物質が河川へ流出してしまうと、魚などの水生生物に影響を与えるだけでなく、規模によっては河川からの水道用水等の取水が制限されるなど、広範囲にわたって市民生活に重大な影響を及ぼすおそれがあります。

そのため水質事故発生時には、「水質汚濁防止連絡協議会」を通じて速やかに通報・連絡・情報収集を行うとともに被害の拡大を防止できるよう、日頃から関係機関と共同で訓練等を実施しています。

事例

東北地方整備局での事例

北上川水系水質汚濁対策連絡協議会上流支局（事務局：岩手河川国道事務所）では、灯油の取り扱いが増える冬季前に、油流出事故を想定した対策訓練を毎年実施しており、国・県・流域の市町及び消防等の関係機関が参加しています。

令和6年度は、10月に紫波運動公園桜町グラウンド周辺にて、オイルフェンスの設置や土のうによる油の拡散を防止する方法や、吸着マットによる油回収方法などを行いました。また、水質事故が発生した際に迅速な対応ができるよう、参加者全員で手順などを確認し、技術の習熟を図りました。



土のうによる下流拡散防止工の実演

（写真提供：東北地方整備局 岩手河川国道事務所）

関東地方整備局での事例

利根川ダム統合管理事務所では、ダム湖で水質異常（事故）が発生した場合を想定して、現場対応に備えるとともに、水質事故対策訓練を通じて水質事故対応の知識や技術向上を図ることを目的として、毎年実施しています。

令和6年度は、ダム管理事務所や群馬県、みなかみ町や東吾妻町等の職員、関係者など約60人が参加し、ハッ場あがつま湖（ハッ場ダム貯水池）に油が流出したという想定で、ダム湖内にオイルフェンス及びオイルマットを設置しました。また、水質簡易分析訓練として、パックテストによる水質簡易分析等も行いました。



油等の流出対策訓練（オイルフェンスの設置）

（写真提供：関東地方整備局 利根川ダム統合管理事務所）

特集

「日本最後の清流」と呼ばれる

四万十川

[渡川水系四万十川 (渡川) (高知県・愛媛県)]

位置図



写真提供：四国地方整備局

豊かな自然環境を育む四万十川

しまんとがわ いらずやま
四万十川は、不入山 (標高 1,336m) に源を発する流域面積 2,186km²、幹川
流路延長 196km の一級河川です。河川法上では「渡川」が正式名称でしたが、
1983 年に放送された NHK の特集で「日本最後の清流 四万十川」として全国に
その名が知られる様になったこと等により、平成 6 年 7 月に「渡川水系四万十川 (渡
川)」に改名されました。

四万十川は、「水質が最も良好な河川^{※1}」として過去 10 年間 (2015 ～ 2024)
で 4 回記録されており、アユやスジアオノリなど自然の恵み豊かな川としても、
全国的に知られています。上流部はキャンプや水遊び、釣り等に利用され、中下
流部では多くの屋形船や遊覧船が運行するとともに、夏場を中心としたカヌー利
用が盛んです。

また、四万十川沿いの集落は、川から近い順に、農地・道路・家屋・裏山・山
林という地形を生かした配置になっており、洪水時に家屋が浸水しにくい構造と
なっています。これらの集落を結ぶために、高知県等により指定・保存された 48
橋を含む数多くの沈下橋があり、これらの橋は川に近い暮らしをおくる四万十川
流域のシンボリックな存在となっています。

※ 1: 「水質が最も良好な河川」の定義は、本資料の 3 ページ目に記載。



アユの塩焼き

写真提供：一般社団法人四万十市観光協会



高瀬沈下橋とカヌー

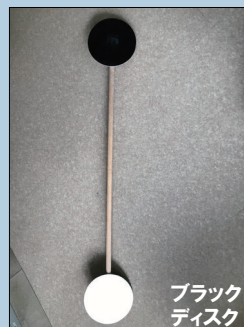
写真提供：一般社団法人四万十市観光協会

四万十川の独自の水質基準

高知県では、四万十川を県民・国民共有の財産として後世に引き継ぐための基本
ルールを定めた「高知県四万十川の保全及び流域の振興に関する基本条例 (略称：
四万十川条例)」を平成 13 年 3 月に制定しており、流域の保全と振興を目指した
さまざまな取り組みを行っています。

四万十川条例の第 23 条では、環境基準に加えて、四万十川の清流を守るための
目安となる「清流基準」(清流度、全窒素量、全リン量、水生生物) を定めていま
す。これは、住民の方々にわかりやすく、調査に参加してもらいやすい四万十川独
自の水質基準です。

このうち、清流度とは水平方向の透明性を表すもので、イメージとしては川の中
に潜ったときに、魚が何 m 先まで見えるかということです。きれいな水の中では、
濁りのわずかな変化で水平方向の透明性が大きく変化します。水がきれいな四万十
川では、今までの方法では「にぎり」の程度を測定できない場合があり、清らかで
澄んだところでのわずかな変化をつかむための基準として設定しています。

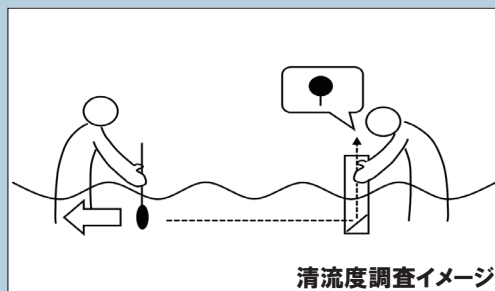


ブラック
ディスク



清流度計

写真提供：公益財団法人四万十川財団



清流度調査イメージ

提供：高知県衛生環境研究所

清流 四万十川を守る取り組み

四万十川（渡川）流域では、清流 四万十川を後世に引き継ぐため、流域全体で様々な取り組みが行われています。

田んぼにおける取り組み（上流域）

毎年4月～5月になると、四万十川支川の広見川から流れ出る濁水が四万十川本川の透明な水にぶつかり、ツートンカラーを作りながら下流へと流れていきます。

この現象は、広見川支川の三間川流域（愛媛県）にある田んぼから、代掻き時の濁水が漏水することで発生します。そこで、愛媛県では漏水させないための止水板を無料で配布する等を行っており、現在では約8割の農家が対策に取り組んでいます。

それでもなお、濁水が収まらない状況であったことから、三間川流域の土質に問題があることが考えられました。三間川流域の土壌は、粒子が極端に細かく、沈殿しにくい性質があります。そこで、令和2年に凝集沈殿効果がある石膏資材を投入する実証実験が行われ、散布から2日以内には濁りが解消されていることが確認されました。令和4年12月からは、これらの田んぼから収穫されたお米の販売が開始されています。

この実証実験は、愛媛県と高知県が連携して取り組んでおり、高知県では四万十町で令和4年から行われています。



写真提供：公益財団法人四万十川財団



実施実験の様子（左：実証区、右：対照区）

写真提供：公益財団法人四万十川財団

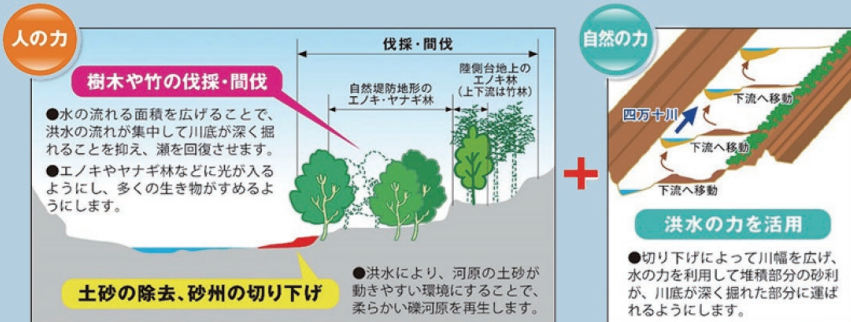
アユの瀬づくり（四万十川自然再生事業）（下流域）

四万十川で育った天然アユは「香魚」とも呼ばれ、引き締まった肉質と香り高く深い味わいが魅力で、天下の一級品として各方面より高く評価されています。

しかしながら、アユの漁獲量は近年大きく減っています。この背景には、アユが産卵する瀬や、アユの生育環境となる水草が生える汽水域の浅場など、貴重な自然環境が減少していることもその一因と考えられます。アユの産卵場が集まっている四万十川橋（赤鉄橋）の上流にある入田地区では、河畔に樹林が増え、アユの産卵場となる瀬が狭くなっていたことから、中村河川国道事務所では以下の取組を行いました。

- ・河畔林の樹木や竹を伐採・間伐
- ・土砂の除去、砂州の切り下げ

これに洪水の力を利用することで、整備後の川の中では砂利が運ばれるようになり、アユが産卵しやすい柔らかい川底になりつつあることがわかりました。



「アユの瀬づくり」の方法

清流を活用したかわまちづくり（下流域）

四万十川は、河床と集落の高低差が小さい地形特性により、物理的にも心理的にも人と近い川となっており、上流の川沿いではアユの観察や特に目的がなく川を眺めている人を見かけます。

一方で、四万十川の施設利用者数は、四万十市街地周辺も含めて、全体的に年々減少傾向にあります。安全に川と触れ合ったり泳いだりする場所が少なく、人と川との繋がりに距離感がある状況となっています。

そこで、「川でつながるひと・まち・未来の創生」というコンセプトのもと、“かわ”と“まち”が一体となった良好な水辺整備を目指す取り組みである「かわまちづくり」が進められており、地域の集客力向上や地域活力の向上が期待されています。



かわまちづくりのロゴマークと整備イメージ

Made in "Clear Water"

「清流」から生まれた
名産品

[北海道地方]

い し か り が わ
石狩川

石狩川水系

神秘的な風景を魅せる自然豊かな石狩川

悠々と我が国の食料供給基地を流れる大河

石狩川は、大雪山系の石狩岳にその源を発し、忠別川、美瑛川、豊平川等の支川を合わせ、石狩湾で日本海に注ぐ流域面積 14,330km²（全国第 2 位）、延長 268km（全国第 3 位）の川です。

その流域は、札幌市や旭川市をはじめ 46 市町村からなり、北海道の社会、経済、文化の基盤をなしているとともに、およそ 24 万 ha におよぶ広大な田園地帯が広がっており、稲作や畑作、畜産が行われ、全国的にも重要な食料供給地となっています。

また、大雪山（たいせつざん）国立公園、支笏（しこつ）洞爺（とうや）国立公園をはじめとする雄大で変化に富んだ自然景観、サケ等の遡上や産卵、渡り鳥の中継地として重要な位置を占めるなど、石狩川は北海道で特徴的に見られる亜寒帯特有の豊かな自然環境に恵まれています。

サケが遡上する川

本支流を含め、石狩川には古来よりサケが多く遡上していました。しかし、第二次世界大戦以降、開発に伴う川の水質悪化等により、サケの遡上は激減しました。近年では、下水処理施設の整備など関係者による取組の進展によって水質改善が進んでいます。

また、遡上の障害となっていた河川構造物への魚道の設置も進み、再びサケの遡上がみられるようになりました。



石狩川を泳ぐサケ

「支笏湖チップ」が地域団体商標[※]に登録

石狩川支川の千歳川上流に位置する支笏湖は、環境省が公表している公共用水域水質測定結果において、令和 5 年度に COD で全国 2 位となるとてもきれいな水質を有する湖です。「支笏湖チップ」は、一生をこの支笏湖で過ごすヒメマスで、アイヌ語で「カバチェッポ（薄い魚）」と呼ばれており、「チップ」はこの「チェッポ」に由来しています。



支笏湖チップ

（写真提供：一般社団法人 国立公園
支笏湖運営協議会）

支笏湖チップの主な餌はミジンコなどの動物性プランクトンで、これらを餌とするワカサギが生息していないことなどから十分に餌を確保できるため、臭みの原因となる水生昆虫を口にすることがありません。この美味しい魚をより多くの人に知ってもらい後世に伝えていくため、支笏湖漁業協同組合はブランド名称を「支笏湖チップ」に統一し、地域ブランドを保護することで、地域経済の活性化を目的とした「地域団体商標」を目指し、令和 6 年 6 月に登録されました。※「地域の名称＋商品の名称」からなる商標

壮大な自然に囲まれた青い池

石狩川上流の美瑛町にある「青い池」は、直轄火山砂防事業により整備した砂防施設に、美瑛川の水が溜まって出現した人工的な池で、その幻想的な風景により、人気の観光スポットとなっています。

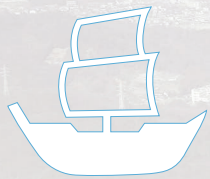
平成 28 年 8 月の台風により一時的に青い色を失いましたが、その後、水の青さが戻り、以前のようにより多くの人々を魅了しています。



青い池

写真提供：北海道開発局

水質改善と観光振興



〔中国地方〕

あしだ が わ
芦田川

芦田川水系

備後の母なる川 芦田川

芦田川は、その源を広島県三原市大和町蔵宗（標高570m）に発し、支川高屋川等を合わせて世羅台地を貫流し、神辺平野を流下し、瀬戸内備後灘に注ぐ川です。

この流域の中下流にまたがる備後地方は、昭和39年に「備後地区工業整備特別地域」の指定を受けて以来、鉄鋼業を中心とする重化学工業主体の産業都市へと転換を図り、瀬戸内海沿岸地域における中核的な工業拠点として発展してきたことから、備後地方における社会、経済、文化の基盤をなすとともに、古くから人々の生活を支え文化を育て、芦田川は“備後の母なる川”として知られています。

流域一体となった水質改善への取り組み

昭和50～60年代、芦田川の水の9割が工業・上水・農業用水などに広く利用され、人口や産業の集積が進む一方、下水道整備が立ち遅れていたために、特に下流部では水質汚濁が問題となっていました。福山河川国道事務所では、水質汚濁の著しい芦田川の水質改善を図るため、平成8年に「水環境改善緊急行動計画（清流ルネッサンス21）」を策定しました。その後、計画を5年毎に見直ししながら平成29年に策定した「芦田川水環境改善アクションプラン」では、「流域対策」、「下水道事業」、「河川事業」の枠組みに基づき、流域の取組と一体となって水環境の改善を図ってきました。

この「流域対策」では、芦田川環境マネジメントセンターによる流域連携及び啓発支援が行われています。この取組みのひとつとして福山市、府中市、国土交通省と連携した“河川浄化チャレンジ月間”が実施されています。平成19年度より11月の1ヶ月を対象に、家庭でできる水質浄化の取組みを流域住民に実施していただき、その取組みによる水質改善量を計測・公表することで、芦田川が汚れている現状や原因を理解し、流域住民の水質浄化活動の契機となる活動に取り組んでいます。

また「河川事業」の取組みのひとつである高屋川河川浄化施設は、芦田川河口堰の貯水池内のアオコなど富栄養化

による水質悪化防止を目的として設置され、平成13年4月から令和3年3月末まで稼働し、水質改善に寄与しました。その他にも、「下水道事業」による下水道整備が着実に進んだこと等により、芦田川の水質は改善傾向にあります。



高屋川河川浄化施設

川に親しむ場へ

水質が改善してきた芦田川では、河口周辺を舞台とした「福山かわまちトライアスロン」が開催されています。2024年大会（令和6年6月開催）は、3種の競技が行われました。このうちミドルディスタンスは、芦田川でのスイム1.8kmの後、バイク80km、ラン18kmの川沿いを周回するコースとなっており、全国から207人のエントリーがあり、150人が完走したとのことです。

この大会本部が設置されたエリアは、福山市の「千代田地区かわまちづくり」計画によって整備された場所です。水辺の親水護岸や河川敷等を利用して、スポーツやレジャーを楽しみながら健康づくりができる市民の交流拠点となっています。また、地元の団体により定期的なゴミ拾いが行われています。



芦田川かわまち広場



福山かわまちトライアスロン

（写真提供：福山かわまちトライアスロン実行委員会）



水質だより

〔近畿地方〕
よどがわ

淀川

淀川水系

近畿圏の中心を貫く河川

淀川は、その源を滋賀県山間部に発する大小支川を日本最大の湖「琵琶湖」に集めています。上流部では瀬田川、中流部では「宇治川」と呼ばれ、京都府・大阪府境界付近で桂川、木津川と合流した後は「淀川」となる、大阪湾に注ぐ延長 75.1km、流域面積 8,240km² の川です。

淀川流域は、下流部に大阪市、中流部に京都市その他数多くの都市をかかえ、関西地方の社会、経済、文化の基盤をなしており、古くから我が国の政治経済の中心として栄え、人々の生活・文化を育んで行きました。

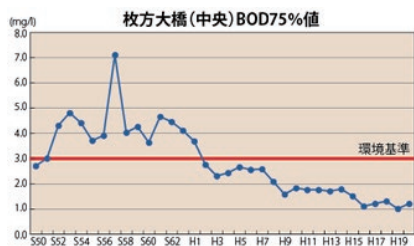
しかし、流域における急激な開発と社会活動の増大により河川水質・底質が悪化するなど、淀川水系の河川環境は大きく変化してきました。

急速に悪化した水質

水質は、昭和 30 年代以降の人口増加、社会・経済活動の急速な発展に伴う土地利用やライフスタイルの変化などにより、生活や工場からの排水などが原因となって、急速に悪化しました。

このため、水質保全法などの法律が整備され、工場排水などの規制が強化されました。淀川流域においては、昭和 33 年からは国、府県、流域市、関係団体により「淀川水質汚濁防止連絡協議会」が設立され、水質に関する問題を総合的に協議する取り組みが行われています。

これらの取り組みや下水道整備の進捗等により改善されてきており、BOD は一部の水域を除いて環境基準値を下回るまでに水質が回復しました。

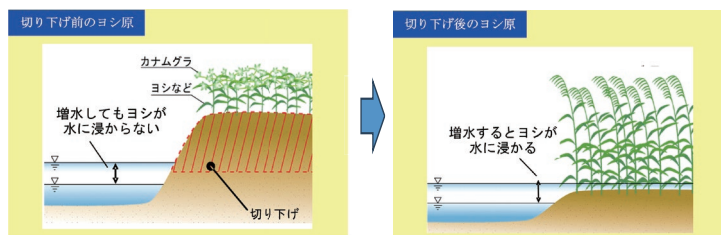


【参考】河川における BOD の推移 (75% 水質値)
(グラフ出典: 水文水質データベース)

淀川ヨシ原保全・復元

淀川の鶴殿地区（大阪府高槻市）には、淀川の前風景として知られるヨシ原が広く分布し、ツバメがねぐらとして使用する等生物多様性が確保されていました。また、良質なヨシは雅楽器「ひちりき（箏篋）」の材料にも用いられ、文化的に重要な価値があります。

しかし、河川改修に伴い、本川水位の低下などによりヨシ原面積が減少し在来生物の生息・生育・繁殖の場が減少してしまいました。そこで、高水敷の切り下げなどを行い、冠水頻度を増大させることで、ヨシ原の保全・復元を図っています。



鶴殿の整備前後イメージ

住民と行政と一緒に川を守り、育てていく

河川美化、水辺の環境保全、ゴミを捨てないマナーアップの取り組みのひとつとして「淀川水系一斉美化アクション」が開催されています。

この取組みは、平成 28 年から毎年実施しており、淀川（淀川・宇治川・桂川・木津川）の上流から下流まで、「河川レンジャー」と呼ばれる行政と住民の橋渡し役となる方が中心となり、地域の皆さんと関係機関が、一緒に清掃する活動です。

令和 6 年は、1 月から 3 月に実施され、行政や自治会、企業や学校などから 3,600 人以上の参加がありました。



淀川水系一斉美化アクション実施状況

ベルトを締め、体をフィットさせることで脱げにくくなる。

水難事故防止

ライフジャケット・オン!



ライフジャケット・オン・スタイル

股下ベルトがある(子ども用)

水面でも呼吸ができるようにする。

ライフジャケット

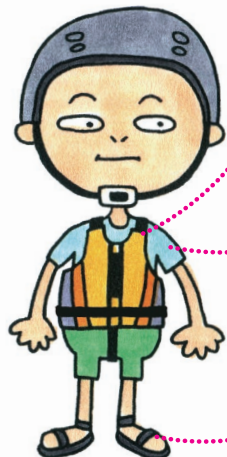
体温を奪われないようにする。

乾きやすい服装(水着など)



足を守る。脱げないようにする。

運動靴など



水抜き穴がある



大切な頭を守る。
ヘルメット(あれば)

川は楽しい場所ですがリスクもあります。川に入らなくても川岸で足を滑らせて転落することもあります。川での水難事故のほとんどはライフジャケットさえ着ていれば防げた可能性があります。

川で子どもを事故に遭わせないために、そして自分も事故に遭わないように、子どもも大人もライフジャケットを着用する必要があります。

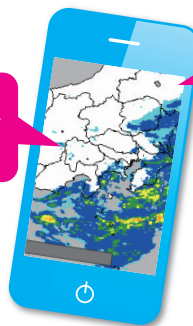


だるまキャラの「山田ま」ちゃんが、ライフジャケットを着て「川田るま」に変身!

川で遊ぶ時は、まずチェック!

川の防災情報

提供
国土交通省



左の画面は、東京近郊のレーダー雨量画面です。国土交通省では川の防災情報を携帯電話向けに情報提供しています。



川のリアルタイムな情報をチェック!

川に着いたらレーダー雨量や水位を確認しよう!

CHECK

① 川に行く前にチェック!

- ✓ 必ず天気や川の情報をチェックしよう。急な雨で、川が増水することもあるぞ!
- ✓ バーベキューやキャンプなどでも川に近づく場合はライフジャケットを用意しよう!(大人も子どもも)



② 川に着いたら安全も確認!

- ✓ 川に関する看板があれば確認しよう。
- ✓ 大人も子どももライフジャケットを着用し、子どもから目をはなさないように。(堰付近は川遊びにはケン・近づかない!)
- ✓ 川のリアルタイムな情報を確認し、上流の状況について把握しよう。

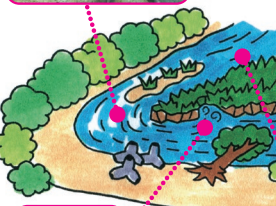


③ 表面は穏やかでも水中は注意!

- ✓ 川には流れがあり、常に変化しているぞ!
- ✓ 一見穏やかに見えても、急に深くなる所や、滑りやすい所があるぞ!
- ✓ 川の事故の約90%は、穏やかな流れや浅瀬で発生しているぞ!



浅瀬に見えても...中は激流!



穏やかな流れの中は、渦を巻いていることも!

川底は滑り易かったり石につまづいて転びやすい



だからライフジャケットが必要なんだぞ!

穏やかな流れに見えても...急に深くなる!滑りやすい!

④ こんな場所は急な増水に注意!

- ✓ 河原は、増水の際は川底になるぞ。特に中州にいと、増水したら取り残されるぞ!



川原に草が生えていない所は、増水時に水が流れていることの「証」

⑤ すぐに避難!

- ✓ 増水の前ぶれや、警報が鳴ったら直ちに避難しよう! すぐに水位が上がってくるぞ!
- ✓ バトロールの人たちや警察・消防、河川管理者の注意には必ず従おう。



増水の前ぶれはこんな時!

1. 山鳴り(山全体がうなるような音)がする。
2. 水かさが増え、濁ったり、流水、落ち葉が流れてくる。
3. 雨が降っているのに、水かさが減っている。
4. 腐った土・火薬のようなにおいがする。



※もし誰かが流されたら、浮くもの等を投げよう(子どもは大人を呼ぼう!)。救助する大人が事故に合わないよう、大人もライフジャケットを!



ミズベリング・プロジェクトとは

かつての賑いを失ってしまった日本の水辺の新しい活用の可能性を、創造していくプロジェクトです。ミズベリングは「水辺+RING(輪)」、「水辺+R(リノベーション)+ING(進行形)」の造語。
水辺に興味を持つ市民や企業、そして行政が三位一体となって、水辺とまちが一体となった美しい景観と、新しい賑いを生み出すムーブメントを、つぎつぎと起こしていきます。

**水辺のアクションがもっと増えれば、
みんなのまちはもっともっと輝くはずだ。**

なにやら、全国の水辺が、ゆるゆると元気になってきた。
カフェやテラスができたり、巨大アヒルが浮かんでいたり。
河川を管理する規制の緩和で、水辺のポテンシャルが一気に加速してきたみたい。

すでに元気な水辺の都市もあるけれど、
まだまだ水辺をとりいれてワクワクできる環境づくり、まちづくりはできるはず。

そこでミズベリング・プロジェクト、開始。
ミズベリング(MIZBERING)とは「水辺+リング(輪)」の造語であると同時に常に現在進行形"ING"の気持ちで、水辺とまちが一体になった美しい景観を未来へ創造しつづけるソーシャル・アクションワード。

みんなのアイデアとアクションが集まれば、日本の水辺は、
きっと世界がうらやましくて素敵なおちになるはずだ。

ミズベリング・プロジェクト事務局

mizbering.jp

ミズベリングの先進事例に学べ

1

「水都大阪」

「水都大阪」という、「水の都」としての大阪を復活させるプロジェクトをご存じだろうか？ 2011年から2020年までの長期プロジェクトで、「水都大阪 水と光のまちづくり構想」を掲げ、関西全体を元気にする「大阪の都市力の向上」を目標にしている。構想策定から10年間、水と光のまちづくりの取り組みを推進するにあたり、市民・地域・NPO・行政等との連携をさらに強化。オール大阪で水辺の利用促進に励んでいる。



© 千鳥土地株式会社

2

「水の都ひろしま」

広島市はまちの中心部を6本の川が流れている「水の都」。その恵まれた水辺を都市づくりに活かすべく、戦後間もない頃から水辺を緑地として整備してきた。今では延長25kmもの緑豊かな河岸緑地となり、美しい水辺が形成されている。水辺をもっと市民に使ってもらうため、市民と国・県・市の協働で「水の都ひろしま」構想(2003年)を策定。「水辺のオープンカフェ」や「水辺のコンサート」を開催、水辺での市民活動の促進、水上交通の活性化の推進などを行い、河川空間における市民や民間事業者の多様な活用が進んでいる。



水辺のアクションをみんなで起こせば、
日本のまちはもっともっと輝くはずだ。

ミズベリング、5つのアクション

1 つなごう

「水辺の未来」を考える人が
つながれば、大きなムーブメントが
始まるはずだ。

2 かたろう

「水辺の可能性」をみんなで掘れば、
思いも寄らないアイデアが
浮かぶはずだ。

3 ためそう

「水辺でのチャレンジ」が湧いていけば、
世の中はもっと水辺に
注目するはずだ。

4 つくろう

「水辺を通じたまちづくり」が進めば、
日本のまちは世界がうらやまに
なるはずだ。

5 育てよう

「水辺での暮らし」をみんなで
育てていけば、人生はもっと
豊かになるはずだ。